

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 15 日 作成

事務事業名		岳の河原作業道管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり	所属部	産業振興部	課長名	渡辺 直美
	施策	9	みどりの景観の保全	所属課	農政課	担当者名	木永 和博
	基本事業	24	山林の整備	所属班	農業振興班	(内線)	1165
				法令根拠	菊池地域林業振興協議会会則		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果
	1	6	2	1	10201			コスト削減優先度評価結果
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
菊池市旭志麓にある合志市市有林「岳の河原」作業道の管理を行う。  
【業務の流れ】  
全長L=1.8kmほどある作業道のうち、崩れやすかった半分近くはコンクリート舗装してあるので、残り900mほどの作業道の草刈及び崩れた場合の補修等の管理を行う。  
【主な予算費目】  
委託料

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 草刈作業5,800㎡	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 草刈を行う面積 → イ ㎡
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 岳の河原市有林道	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 岳の河原市有林道面積 → イ ha
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 岳の河原市有林道を良好に管理する	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 作業道を良好に通れた割合 → イ %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 良好に管理されている	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 管理がされている山林/調整区域の山林面積(割合) → イ %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0  0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		2,957						
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	61	1,957	90	58	90	90	90		
	(A) 事業費計	千円	61	4,914	90	58	90	90	90		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	千円									
正規職員従事人数	人	1	1	1	3	3	3	3			
延べ業務時間	時間	10	30	10	154	154	154	154			
(B)人件費計	千円	40	119	40	613	613	613	613			
トータルコスト(A)+(B)	千円	101	5,033	130	671	703	703	703			
活動指標	ア イ	㎡	6600	6600	3000	3000	3000	3000	3000	目 標 合 計 値 画  22 年 度	
対象指標	ア イ	ha	6600	6600	6600	6600	6600	6600	6600		
成果指標	ア イ	%	100	100	100	100	100	100	100		
上位成果指標	ア イ	%	未把握	未把握	未把握	未把握					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
50年生から70年生の杉・ヒノキを有する岳の河原市有林を管理するために作業道を設置してあるが、大雨の度に管理道路が流され、管理に支障をきたさないように管理するようになった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
年々、杉やヒノキが成長しており、H19.20で間伐を行った。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
岳の河原市有林の巡視委託管理人より、安全に管理ができるという報告がある。

事務事業名	岳の河原作業道管理事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 合志市岳の河原市有林を良好に管理することにより、松やヒノキが良好に成長し財産価値が上がる。また、二酸化炭素の削減と地下水源の涵養、土砂崩壊の防止など多面的機能も有する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市有林は市の財産であり、二酸化炭素の削減と地下水源の涵養など環境保全について多面的機能も備えるため管理道路整備を行うのは妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 事業の対象は岳の河原市有林であり、良好に管理するための舗装工事であるため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 今回の舗装工事で1.8kmのうちの0.9kmの舗装が完了した。未整備部分にも舗装が必要な箇所がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 適正な管理が出来なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 近接する赤崩れ市有林に作業道路が完成したので、連携して管理を行う。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効 率 性 評 価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在草刈だけの最低必要予算を計上している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 合志市市有林の管理業務全てを森林組合に指定管理すれば削減できる。
公 平 性 評 価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	12	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )